

田川地区の県立高校再編整備計画<第2次計画（骨子案）>

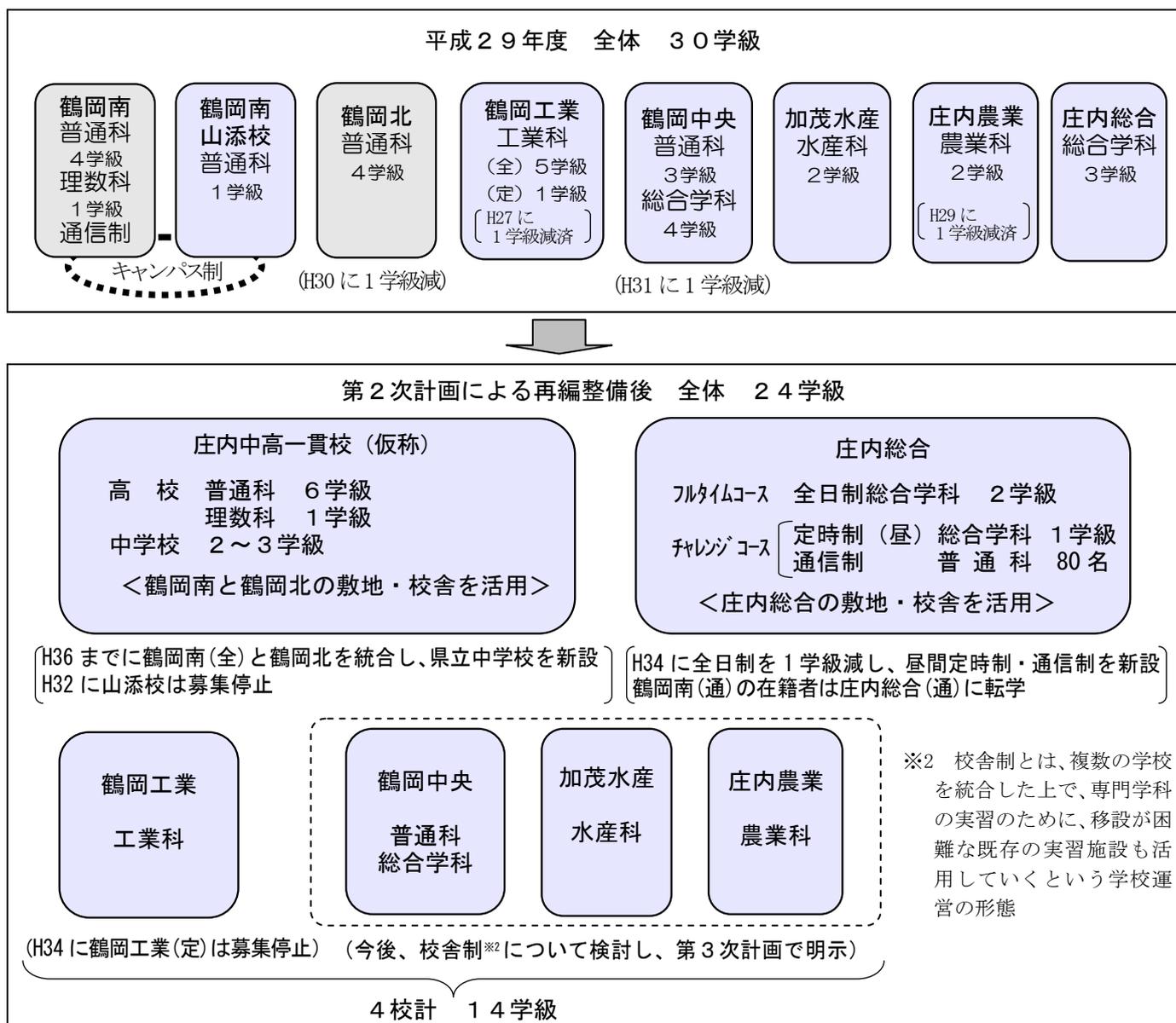
1 田川地区の県立高校再編整備計画（平成25年3月策定）の要点

- (1) 田川地区の中学校卒業生数の大幅な減少に対応して、平成27年度から平成36年度の10年間で、入学定員を8学級程度削減する。
- (2) 平成36年度を目処に次の方向で再編整備を行う。
- ① 普通科を2校に集約し、適正規模を確保する。
 - ② 工業科については、単科型専門高校とする。
 - ③ 農業科、水産科については、総合学科と連携するとともに、小規模化が更に進行した場合、校舎制（下記参照）の導入を検討する。
 - ④ 総合学科については、当面は現在の2校配置を維持し、在り方を検討する。
 - ⑤ 定時制・通信制等を統合し、多様なニーズに対応する。

2 第2次計画における学校の配置

◇ 上記1の計画及び「山形県中高一貫教育校設置構想^{※1}」（平成21年6月策定）を踏まえて、下のおり再編整備を進めます。

※1 「内陸地区と庄内地区に併設型中高一貫教育校のモデル校を設置する。」



3 庄内中高一貫校（仮称）と庄内総合高校の特色

庄内中高一貫校（仮称）

目指す学校像

高等学校
中学校

県立中学校と県立高校を併設した庄内初の中高一貫教育校

6年間の継続的な学習を通して、生徒の能力を最大限に伸ばす学校

主な特色

- 高校の学習内容を一部先取りするなど、高いレベルの授業を実施
- 大学・研究機関や企業と連携し、自ら設定した課題の解決に向けて、主体的・協働的に学ぶ探究型の学習を推進
- 外国語教育や理数教育を充実させ、グローバル化に対応した実践的なコミュニケーション能力や、数学的・科学的思考に基づき判断・表現できる力を育成
- 庄内の自然、産業、文化などに関わる体験活動を充実

庄内総合高校

目指す学校像

フルタイムコース（仮称）
チャレンジコース（仮称）

全日制総合学科
定時制（昼）総合学科
通信制普通科

多様な形態の学びが可能な県内初の全日制、定時制（昼）、通信制併設高校

地域とともに自立した社会人の養成を目指す学校

主な特色

- これまでの全日制総合学科に加え、新しく「チャレンジコース（仮称）」を設置し、生徒個々の多様な学習ニーズに応える総合的な高校
- 普通教科と専門教科から豊富な選択科目を開設し、大学等への進学や就職などに幅広く対応
- 少人数指導による基礎学習の充実、学び直しへも対応
- 地域資源を生かした実習・体験型の学習の充実
- 外部機関と連携したソーシャルスキルトレーニング等、社会的な自立に向けた支援

4 今後のスケジュール（予定）

年度	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
新しい学校づくり	教育基本計画の策定	開校整備委員会			開校準備委員会	中高一貫校の開校	
	教育基本計画の策定	開校整備委員会	開校準備委員会		庄内総合の定通の新設		
	校舎制に関する検討				校舎制による新高校の開校準備		
学級減対象校	鶴岡北	鶴岡中央	山添校 募集停止		鶴工（定） 募集停止	中高一貫校 未定	(7学級で募集)
		▶(閉校)		▶(閉課程)	

(問い合わせ) 山形県教育庁高校教育課高校改革推進室
 電話 023-630-2493 Fax023-630-2774